

# 足ケア

すっかり暖かい季節になりました。今回は、これから季節に注意していただきたい水虫の話です。

水虫というのは俗称で、正確には白癬(はくせん)と言います。江戸時代の頃、田植えの季節になると足に水疱ができるかゆい。昔の人は、水の中に潜む目に見えない虫のせいだろうと考え、『水虫』と呼ばれるようになったそうです。

実際には、白癬菌というカビが原因です。この菌は、共同浴場、プール、体育館などの床やカーペットに普通にいます。だからと言って神経質にならないでください。菌が悪さをする前に落としてしまえば何も問題ないですから。水虫の人もそうでない人も、これから暖かい季節になりますので足のケアに気をつけてください。



## 足のケアのポイント

- ①毎日足を洗い、よく乾かす。  
白癬菌はすぐに洗えば落ちます。普通に洗って乾かすだけでOK。
- ②足の指を広げる。風通しの良い涼しい所に足を置く。  
白癬菌の好む温度15°C以上、湿度70%以上にならないように注意。
- ③靴下やストッキングはいつも清潔な物をはく。
- ④靴や靴下は風通しのよいものを選び、蒸れないようにする。

薬剤科 石崎 均



## 病院概要

開院／昭和47年 平成15年12月(新設・増床)

開設者／中村哲也

院長／黒木副武

病床数／回復期リハビリテーション病棟：120床(2F・4F)

障害者病棟：55床(3F) 計：175床

診療科目／リハビリテーション科、内科、神経内科

主要設備／マルチスライスCT・X線テレビ診断(VF)

装備／特殊浴室、リハビリ浴室

附属施設／総合介護センター(通所リハビリテーション・居宅介護支援事業所)

## —編集後記—

医療制度改革法が成立してもうすぐ2年、医療はどんどん厳しくなるばかり。もっと国民の声に耳を傾けた政治をしてほしいものです。ところで、地球温暖化対策として京都議定書が発行され、もう3年。私たちはガソリンの価格にばかり耳を傾けがちですが、本当は温暖化対策に耳を傾けることのほうが大事なのでしょうね。耳を傾ける方向は難しいなと思いました。

広報委員 石崎 均

発行／埼玉みさと総合リハビリテーション病院 広報委員会

発行日／2008年4月

〒341-0034 埼玉県三郷市新和5-207

医療法人三愛会 埼玉みさと総合リハビリテーション病院

TEL.048-953-1211(代表) FAX.048-952-0127

[http://www.ims.gr.jp/saitama\\_misato/](http://www.ims.gr.jp/saitama_misato/)



## 埼玉みさと総合リハビリテーション病院

### —病院理念— 幸せ・満足に貢献する病院

- ・高度な医療・看護・リハビリテーションの知識を高め実践します。
- ・チームアプローチに基づいた医療を提供します。
- ・早期の患者様の社会復帰を目指します。

### 《患者様の権利》

当院では理念と基本方針に基づき、患者様の権利を尊重いたします。

- 1.患者様は、差別されることなく、良質で最善な医療を公平に受ける権利があります。
- 2.患者様は、ご自身の病状や治療について十分な説明を受ける権利があります。
- 3.患者様は、ご自分が治療方針を選択しました予想される結果に関する情報を得る権利があります。
- 4.患者様は、治療方針を決定するために、他の医師の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります。
- 5.患者様は、ご自身の医療の内容を知る権利があります。
- 6.患者様は、個人情報及びプライバシーの保護を求める権利があります。

### CONTENTS

■新入職員紹介	1P	■足ケア	4P
■病院長だより	2P	■交通のご案内	4P
■<エッセイ>天使のひとりごと	2P	■病院概要	4P
■車椅子での外出にむけて	3P	■編集後記	4P

## 平成20年度の新入職員を宜しくお願い致します。

埼玉みさと総合リハビリテーション病院では、4月1日、2日に新人職員研修会を行いました。

病院理念や基本方針について理解するとともに、医療従事者としてのこれからの取り組みや姿勢について講義を受け、社会人としての意識や心構えを学びました。

これから病院の一員としてチームアプローチを構築し、頑張っていく所存です。



## 病院長だより



2008年4月より病院も年度が変わり、新しいスタートとなります。今年は桜も早く咲き、新入の職員も入職して、各部署とも活気にあふれます。病院の目標も新しくなり、同じ方向を向いて全職員が歩んでいかなくてはいけません。病院の理念は、患者さまの満足にあります。当院はリハビリテーションの専門病院として、在宅への復帰と活動度のアップが目標です。

4月1日より2年に一度の診療報酬の大改訂が実施されました。改訂の内容の大枠は、新聞などでも発表されていますが、またしても10年来のマイナスの改訂です。医療分が0.3%強のアップ、薬が1%強のマイナスで、トータルでは完全なマイナスの改訂です。これでは、赤字病院の数はさらに増加し、僻地での医師不足や救急、小児科、産婦人科の医師の不足は全く解消されません。厚労省は見かけだけの体裁のいい改訂を行います。実質的には、医療全体では何も解決されてはいないのです。また、75歳以上の患者さまは後期高齢者として、新たな保険料の負担をしいられます。扶養に入っていた人も扶養から強制的にはずされ、新たな負担金を払うのです。こうした改悪が次々に行われているのです。

リハビリテーションの分野でも、大幅な医療費の削減が行われました。リハビリの根幹をなす、リハビリテーション自体の値段が下げられたのです。10%以上の削減です。全国のリハビリ病院は当然、大幅な減収となっています。

当病院では、リハビリ医療のレベルアップを目指し、一層努力してまいります。今年度も病病連携を密にして、医療パスにも力を入れてまいりますので、ご指導、ご鞭撻よろしくお願ひいたします。

病院長 黒木 副武



## エッセー……天使のひとりごと



ある患者まで、「病気をしなければ私はいい人生だった…。」とおっしゃっていた方がいらっしゃいました。お話をさせていただくと、今までの生活は、なにより仕事が大好きで、仕事にとてもやりがいを感じておられ、また職場でも頼りにされていた方だったようです。しかし、今回の病気を機に生活が180度変わってしまいました。

私は生意気ながらその患者さまに、「でも、病気をしなければ、今までの生活（過去）をこんなに幸せだったと振り返ることが少なかったのではないか？」と話しました。

私は、幸も不幸も本人の考え方一つで大きく変わと思っています。今、病気で思うようにいかないもどかしさがあるからこそ、自分の考え方やものの見方が変わり、それによって過去を幸せに感じられていると思うのです。その人の過ぎた時間は何も変わっていなくても。

だから山にぶつかっても、頑張って受け入れたり

乗り越えたりし、「それがあったからこそよかった」と思えば、山を乗り越える度に幸せの閾値は大きく広がって、幸せってこんなに近くにあったのだと感じられるようになると思います。そして失ったときに、過ぎた時間を羨む生き方よりは、その生きている一瞬一瞬を「幸せ」に感じられる生き方のほうが素敵ではないでしょうか。

その患者さまは、「病気をしなければ、気付けなかつたことがたくさんありました。」とおっしゃいました。そして、「朝起きて看護師に『昨日は良く寝られましたか？』と声を掛けられたとき、そんなたった一言がうれしい」と。

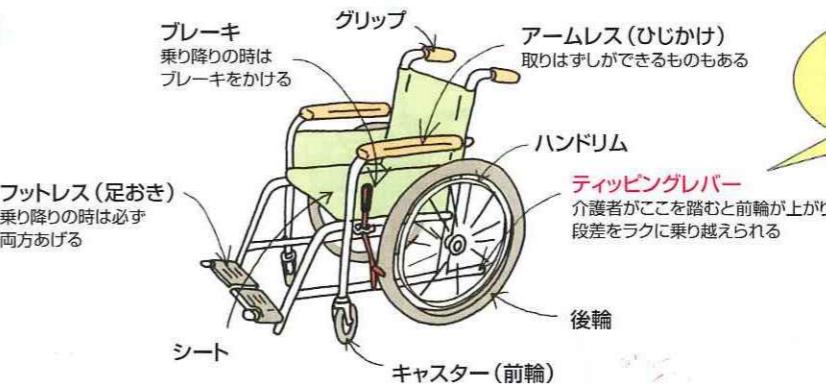
私は、患者さまに小さな幸せを感じていただける看護師でありたいと思いました。

看護師 新美 千佳

## 車椅子での外出にむけて

車椅子で外出してみると、まだまだ障害（バリア）となる場所が多いことに気づきます。そんなときも自在に車椅子を操作して、思い通りに進みたいものです。今回は車椅子で出かけたとき、どのように介助すればいいのかを紹介します。まずは車椅子各部の名称を覚えてみてください。介助方法も覚えたたら思い切って行ってみたい所に出かけてみましょう!!

## 1.車椅子の名称



車椅子を押して段差などを越えるとき重要なのはティッピングレバーです。

## 2.段差介助の基本となるキャスター（前輪）上げ



## 3.段差の上り下り



## 段差を下りる



## 4.坂道



## 急な下り坂



引用文献：(社)日本理学療法士協会編 家庭でできるリハビリテーション

理学療法士 稲垣 茂